

# 科学映像クリエイター

科学映像、立体映像 新時代の映像コンテンツ制作

科学的な成果を踏まえて映像を制作するための基本や新しい映像手法について学び、第一級の研究資源を活用した次世代映像コンテンツを制作できる人材を育成します

基礎講座（全12週程度）を受講、修了映像作品の制作、及び希望する講座を選択履修

科学映像クリエイターコース履修方法

基礎講座 (B)	修了制作 (F)	可視化講座 (V)	N体計算講座 (V)
必修	必修	選択	選択

## 4つの講座

**基礎講座**  
科学映像制作のための知識・技術の修得

科学的な成果をふまえて映像を制作するための基礎的な知識・技術を習得する。

- 映像制作ワークフロー
- 三次元 CG 入門
- 撮影素材 / CG による立体映像試作
- ドーム映像制作入門
- スクリプトによる画像処理入門
- ゲスト講師による講義または実習

**修了制作**  
修得知識・技術を応用した成果映像の制作

個別制作、もしくはグループ制作にて科学映像作品を完成させ、コース最後に作品提出及び修了制作発表を行う。

**重力多体 (N体) 計算講座**  
重力多体計算の理論・計算技術の修得

数値計算技術、特に天文学の分野で重要な重力多体計算の理論、及びその基礎的な計算実習を行う。

- 重力多体計算の基礎理論
- 重力多体計算の実習
- 専用スーパーコンピュータ「GRAPE」を利用した実習

**可視化講座**  
数値計算結果の可視化技術を習得

重力多体計算や粉体計算による、多数の粒子の運動する数値計算について基礎的な可視化及び動画製作法を学ぶ。

- グラフ作成ソフトを使った動画制作
- フリーウェアを用いた多数粒子計算結果の CG 制作
- 専用ツールを使った大規模な重力多体計算の可視化



# 科学プロデューサ

科学資源の橋渡し 起業・ビジネス化

サイエンス・コミュニケーションの基本と起業・経営の実践を学び、科学資源を社会に橋渡しして新しいソーシャル・ビジネスを創出する人材を育成します

## 2期(各半年コース)開講

<b>前期 (4月~9月)</b>	<b>後期 (10月~3月)</b>
半年間にわたって開講される2講座（全15週程度）を受講、及び関連した実習を選択必修	
カリキュラム (前・後期共通)	
科学プロデュース入門講座	SOHO 起業講座
必修	必修

## 2つの講座

**科学プロデュース入門講座**  
サイエンス・コミュニケーション能力の修得

科学の普及に必要な基礎知識、スキルを身につけ、サイエンス・コミュニケーション、コーディネーション能力を高める。

科学と映像クリエーション / 科学館・プラネタリウム館の今最新の天文学 / 科学普及 NPO 法人の運営の実際  
報道と科学 / 地域再生と観光 / メディアと映像  
科学番組制作の実際 / サイエンス・コミュニケーション  
科学情報の信頼性 / 科学と社会 / 国立天文台知財流通 等  
実習 (ライティング / プレゼンテーション)  
講義の他に観察型実習やインターンシップ等

**SOHO 起業講座**  
SOHO 起業・経営に関する講義・演習

SOHO ベンチャービジネス起業の基礎知識を学び、ビジネスプラン・シミュレーション等実践的ノウハウを修得。

三鷹市の SOHO と起業の実際 / 起業の実際 / 営業の実際  
会計実務 / 雇用管理の実際 / 資金調達の実際  
会社設立の実際 / 特許出願の実際 / 会社経営の実際  
ビジネスプラン・シミュレーション作成  
ビジネスプラン・プレゼンテーション  
科学技術政策と資金の獲得 / 科学文化による起業の実際



## 応募・問い合わせ先

自然科学研究機構 国立天文台 天文情報センター 科学文化形成ユニット  
〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 Tel:0422-34-3802 E-mail:ashub-info@nao.ac.jp  
<http://prc.nao.ac.jp/ashub/>

**科学技術振興調整費**  
本事業は、文部科学省科学技術振興調整費を受け平成19年度より実施されています。



科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラム  
宇宙映像利用による科学文化形成ユニット

# 科学映像クリエイター 科学プロデューサ

## 養成コース

平成23年度  
受講生募集



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台